

西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.135

12月から衣類等の洗濯表示が変わります

平成28年12月1日から衣類等の繊維製品の洗濯表示が新しくなりました。これまでの22種類から国際規格の41種類に変わり、国内外で同じ表示となります。

新表示は5つの基本記号「家庭洗濯」「漂白」「乾燥」「アイロン」「クリーニング」と、「処理の強さ」「温度」「処理操作の禁止」を表す付加記号と数字の組み合わせで表示されます。

また、今後は「指示表示」から取り扱い方の限度を表示する「上限表示」に変わります。洗い方に迷ったら、表示に記載されている衣料メーカー等の連絡先に問い合わせましょう。

新しい洗濯表示の構造

5つの基本記号と付加記号及び数字で表します。

基本記号	洗濯	漂白	乾燥	アイロン	クリーニング
付加記号	＜強さ＞		＜温度＞		＜禁止＞



石井国土交通大臣・藤井国土交通大臣政務官に要望書を手渡し

先月7日、西脇北バイパス・黒田庄バイパス協議会の皆さんや商工会議所、市議会議員の皆さん総勢30名で「国道175号西脇北バイパスの早期開通」と「黒田庄地区以北のルート決定・事業化」に向け、石井国土交通大臣、地元西脇市出身の藤井国土交通大臣政務官、菅官房長官に要望書をお渡し、地元の熱い思いをお伝えしてきました。

来年4月竣工予定の西脇消

私が市長に就任しては3年が過ぎようとしています。ほかにも新庁舎、市民交流施設の建設、ごみ処理施設の移転、幼保一元化、市内の道路整備、公共交通体系の整備など多くの課題が山積しています。市民の皆さんのご意見を聞きながら、一つずつ丁寧に取り組んでまいります。このまちに住んでいることを誇れる「西脇市」をともに創っていきましょう。

おもてなしコラム 8

西脇市では、平成28年1月に「日本のへそ西脇地域食材でおもてなし条例」を施行。地域食材の魅力について認識を深め、その魅力を広く発信し、本市にさらなるにぎわいの創出を目指しています。

■問合せ 農林振興課(市役所内線323)



アルヴェアーレ 藤田 泰則さん

アルヴェアーレのおもてなし

海のイメージである青と白を基調にした店内で、イタリア料理をベースに素材を生かした料理を楽しんでいただけるように、旬の野菜や魚を使った料理をご用意しています。

お店の名前はイタリア語で「蜂の巣」や「大勢の人が集まる場所」。ワイワイにぎやかに食事をしていただける場所が作りたくてこの名前を選びました。また、おいしく食べていただくために料理の説明も丁寧にさせていただきますが、調子に乗って長すぎたら遠慮なく止めてくださいね。

西脇ローストビーフは素材を生かし、ボリュームや幸福感をもたらすように厚切りで食べ応えがある一品に仕上げられています。少々値段は高くなりますが、それだけ価値ある料理になっていますので、ぜひお試しください。

お店がレントン通りにあり、市外のお客さんにも良くご利用していただいています。たくさんの方に西脇市の良いところを知っていただけるようPRしていきたいです。

アルヴェアーレ
西脇市西脇939 / ☎23-5331

店舗情報



学校支援ボランティアによるミシン授業の支援

5年生になると初めてミシンを使いエプロンを作ります。そして、6年生では修学旅行に持参するナップサックを作ります。子どもたちはミシンでの縫製を楽しみにしている一方で、操作がうまくいかず苦戦していることもあります。学校支援ボランティアの方には途中で糸が絡まったり、ミシンがうまく動かなくて立ち往生したりしている子どもたちが次のステップに移れるように一つひとつ困難をクリアして

内容・登録等のお問い合わせは左記までご連絡ください。
▼問合せ 生涯学習課(☎22-5996)

西脇市では、子どもたちの学びや学びの環境づくりを支援していただける「学校支援ボランティア」を募集しています。あなたもボランティアに参加してみませんか。

いくことが、子どもたちの学習意欲向上につながります。そして、学校支援ボランティアの方からも「子どもたちから元気をもらっています。少しでも役に立ててうれしい」などと喜んでいただき、地域の皆さんによる温かな支援活動の輪が広がっています。

好きです!! にしわきわたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

「学校支援地域本部事業」

—地域のみなさんの力を学校運営に—

教育委員会では「学校・家庭・地域」が一体となつて地域ぐるみで子どもを育て、学校教育の一層の充実を図ることを目的とする学校支援地域本部事業を実施しています。

平成20年度から始まった「学校支援地域本部事業」では、子どもたちの教育活動のため、昨年度までに115名が学校支援ボランティアとして登録され、学校の授業や活動の中で子どもたちの学びを支援していただいています。

心のスケッチ

93

人権教育室コラム

支え合っていきいきと暮らす社会を

現在の日本は歴史上経験したことのない超高齢社会に突入しているといわれています。また、高齢化の進行により、働く現役世代が減少する社会になると予測されています。こうした現状を乗り越えていくためにどうすれば良いのでしょうか。

大きな力を握るのが、女性の社会参画の拡大であるといわれています。例えば、認定こども園推進による女性の多様な働き方に対応できる仕組みづくりもその一つです。かつて農業や家内工場などを中心とした社会では、女性は労働力として極めて重要な役割を担ってきました。しかし、高度経済成長期における工業化の進展で、「男は仕事、女は家庭」という考え方が日本に根付き、男女の役割分担が固定化されていきました。

1990年代のバブル経済崩壊以降、地域や家族関係の希薄さが浮き彫りになってきた中で、それまでの働き方を見直そうという動きが出てきました。

本市でも、平成11年に施行

された「男女共同参画社会基本法」に基づき、「一人ひとりの人権と個性が尊重され、男女が共に輝く社会」を基本理念とし、平成14年3月に「西脇市男女共同参画基本プラン」を策定しました。本市はこの計画に基づき、男女の人権を尊重し、互いの個性と能力が十分に発揮できることのできる男女共同参画社会の実現を目指した取り組みを現在まで進めています。

今後、女性の社会参画の拡大を図るために、まずは一人ひとりが夢や希望を持ち、自己実現に向けて努力できる職場の環境づくりが大切です。そして、男女が対等に社会を支えるという考え方が最も重要だと思えます。

決して「女性の活躍」が長時間労働を指すのではなく、男女が共に育児や介護などの家庭生活との調和を取れることも大切です。そうして、地域でのさまざまな活躍が可能となる本格的な男女共同参画社会の構築が求められているのではないのでしょうか。(人権教育室)

市長からの手紙

西脇を元気に!!

35

西脇市長 片山象二

「R175西脇北バイパス」実現に向けて要望活動

防署西脇北出張所(24時間対応・寺内ランプ隣接地)は、この道路整備によって南北を結ぶ救急医療ネットワークの重要な拠点になります。また、平成33年完成予定の市役所新庁舎・市民交流施設へのアクセス向上はもちろん、企業誘致など地域振興に欠くことのできない重要な道路でもあります。大きな前進があることを期待するとともに、地元も頑張らねばなりません。早期実現に向けて引き続き尽力してまいります。